

事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）	事業計画期間	平成19年度～平成23年度
事業実施地区名 （都道府県名）	南予森林計画区（なんよ） （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署
事業の概要・目的	<p>南予森林計画区は、宇和島市等を始めとし愛媛県南部に位置し、自然景観に優れた天然林は足摺宇和海国立公園の特別地域にも指定されている。本事業は、本計画区の国有林野面積11,768haのうち集落周辺の国有林野219haを対象としている。</p> <p>当地域では、水土保全、自然環境の保全など国有林に対する要請に応えつつ、集落周辺国有林の路網整備を行うことにより、山村地域の居住環境の改善や都市と山村との交流等の促進にも資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容 路網整備 開設延長 4.0(km)</p>		
費用対効果分析	総費用(C)	333,769千円	
	総便益(B)	水源かん養便益	0千円
		山地保全便益	0千円
		環境保全便益	0千円
		木材生産便益	176,961千円
		森林整備経費縮減等便益	243,751千円
		計	420,712千円
	分析結果(B/C)	1.26	
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 森林の有する多面的機能の発揮に重要な役割を果たす山村において林業・木材産業の振興に不可欠な林道の開設を推進し、山村の就業機会の増大や定住条件の整備を図るため本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>		

事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）	事業計画期間	平成19年度～平成23年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	四万十川森林計画区（しまんとがわ） （高知県）	事業実施主体	四国森林管理局 四万十森林管理署												
事業の概要・目的	<p>四万十川森林計画区は、四万十川の源流部から足摺岬までの高知県西部に位置し、地域を代表する多種多様な林相からなり、自然美の景観としても優れているものも多く、国立公園・保護林・レクリエーションの森等に多数が指定されている。本事業は、本計画区の国有林野面積51,631haのうち集落周辺の国有林野4,725haを対象としている。</p> <p>当地域では、水土保全、自然環境の保全など国有林に対する要請に応えつつ、集落周辺国有林の適切な森林整備を行うことにより、山村地域の居住環境の改善や都市と山村との交流等の促進にも資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: right;">主な事業内容</td> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>12 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>70 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0.9 (km)</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	12 (ha)			保育面積	70 (ha)		路網整備	開設延長	0.9 (km)
主な事業内容	森林整備	更新面積	12 (ha)												
		保育面積	70 (ha)												
	路網整備	開設延長	0.9 (km)												
費用対効果分析	総費用（C）	119,693千円													
	総便益（B）	水源かん養便益	50,640千円												
		山地保全便益	10,982千円												
		環境保全便益	3,033千円												
		木材生産便益	52,476千円												
		森林整備経費縮減等便益	89,743千円												
		計	206,874千円												
	分析結果（B / C）	1.73													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 森林の有する多面的機能の発揮に重要な役割を果たす山村において林業・木材産業の振興に不可欠な林道の開設や居住地周辺の森林整備を推進し、山村の就業機会の増大や定住条件の整備を図るため本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	愛媛
森林計画区	南予
事業名	森林居住環境整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		(千円)			
		森林整備計	路網整備計	計	
水源かん養便益	洪水防止便益			0	
	流域貯水便益			0	
	水質浄化便益			0	
国土保全便益	土砂流出防止便益			0	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益			0	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益		61,343	61,343	
	木材利用増進便益		13,469	13,469	
	木材生産便益(森林整備分)			0	
	木材生産便益(路網整備分)		102,149	102,149	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益		117,083	117,083	
	作業道作設経費縮減便益		98,931	98,931	
	治山経費縮減便益		22,190	22,190	
	森林管理等経費縮減便益		5,547	5,547	
総便益額 (B)		0	420,712	420,712	
総費用額 (C)			333,769	333,769	
費用対効果分析 (B) / (C) =				1.26	

注) 1 に適宜入力する。

2 (B) / (C) 1.0 であれば、社会経済的に評価でき、実行可能性があることを意味する。

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	四万十
森林計画区	四万十川
事業名	森林居住環境整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		(千円)			
		森林整備計	路網整備計	計	
水源かん養便益	洪水防止便益	25,337		25,337	
	流域貯水便益	9,503		9,503	
	水質浄化便益	15,800		15,800	
国土保全便益	土砂流出防止便益	10,982		10,982	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	3,033		3,033	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益		25,916	25,916	
	木材利用増進便益		7,290	7,290	
	木材生産便益(森林整備分)	3,857		3,857	
	木材生産便益(路網整備分)		15,413	15,413	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益		63,336	63,336	
	作業道作設経費縮減便益		22,798	22,798	
	治山経費縮減便益		2,221	2,221	
	森林管理等経費縮減便益		1,388	1,388	
総便益額 (B)		68,512	138,362	206,874	
総費用額 (C)		25,780	93,913	119,693	
費用対効果分析 (B) / (C) =				1.73	

注) 1 に適宜入力する。

2 (B) / (C) 1.0 であれば、社会経済的に評価でき、実行可能性があることを意味する。